

科目番号		54029	分類	専門科目 基礎公衆衛生看護学	履修者	高度実践公衆衛生看護コース		学年	
科目名	地域成人・高齢者保健論 (Community Health for Adults and the Elderly)							1	
								配当シスター	
								前期	
担当者	○岸恵美子			区分	必修	単位	1	時間数	15
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連		
【概 要】 地域における成人，高齢者の個人・家族・集団への個別支援の実践方法を学ぶ。成人や高齢者に対するアセスメントを通して，家庭訪問や保健指導，健康相談における支援の方法や技術を具体的に学ぶ。 【目 標】 ・成人期の保健活動における法制度が説明できる ・特定健康診査・特定保健指導の個別支援について説明できる ・高齢期の保健活動における法制度が説明できる ・地域包括支援センターにおける保健師活動について説明できる							○	1.多様な課題に対応する高度な実践力	
								2.地域住民の自立を養う統合的支援能力	
								3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力	
								4.政策や保健事業を開発する能力	
								5.災害対応や振興・再興感染症への危機管理能力	
								6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力	
授 業 計 画									
回	内 容							担当教員	
第 1 回	生活習慣病と成人期を対象とした法制度の変遷 健康づくりの法律の変遷の概要							岸	
第 2 回	健康増進法における成人期を対象とした保健活動								
第 3 回	特定健康診査・特定保健指導の実際 特定保健指導の 3 つのレベルと「積極的支援」レベルへの援助								
第 4 回	生活習慣病対策における重症化予防 糖尿病性人証重症化予防プログラムの実践例を通して保健師の介入方法について検討・考察する。								
第 5 回	高齢者保健の動向および法制度の変遷 認知症基本法、オレンジプラン等高齢者施策、高齢者虐待防止法								
第 6 回	地域包括支援センターにおける保健師活動① 介護予防関連の活動								
第 7 回	地域包括支援センターにおける保健師活動② 認知症高齢者への支援								
第 8 回	高齢者保健の課題 高齢者虐待事例を通して行政と委託型地域包括支援センターの連携上の課題を検討・考察する								
事前・事後学習	事前学習：テキストの該当箇所を通読すること。 事後学習：配布資料を復習すること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考にすること。								
評価の方法	授業への参加度 30%、レポート 50%、プレゼンテーション 20%から総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。								
参考図書・資料等	◎保健学講座 3 公衆衛生看護活動展開論，メチカルフレンド社 2022								
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								